

Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



2018年3月

今年度のテーマは「心を育てる」です

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne
Column

伝えたいこと

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

親は子どもに何を伝えるのか。これは子育てをしていく上で核となるものだと思います。人それぞれに思いがあると思いますし、伝えるべきことはたくさんあると思いますが、今回は「優しさ」と「決断力」について考えてみたいと思います。理由は大人として社会で生きていく上で、必要なもの、基本的なもののひとつだと考えているからです。

では、どのようにして伝えていったらよいのでしょうか？

○ 優しさ

優しさは感覚的なもので、結果が明確に見えるものではありません。人のために何かができる子（相手を大切に思う気持ちから生まれます）が優しさを持っている子どもと言えます。「優しさ」というものは自分（時に子どもの頃）が受けた優しさという体験の一粒一粒が自身の心の中に貯まり、やがてあふれ出すようにその人の優しい行為となって現れるものだと思います。優しさは教えられて覚えるものではなく、見て覚え、体験（優しくされて）して身についていくものと言えるでしょう。

行為に優しさがあれば人間関係は良好なものとなるでしょう、日々の人間関係が良好であることは、とてもいい財産であり人生を豊かにそして、幸せなものにすることでしょう。

親が「優しい」をたくさん見せてあげること、子どもが優しい行為をしたときに、ほめてあげ、それが優しさだと気づかせてあげることがとても重要なのです。

○ 決断力

決断力を身につけるには、実践が必要です。健全な判断力を持って決断できるようになるためには、体験が欠かせないということになります。子どもの頃から、自ら決める、決めたことには責任を持つという行為をどれだけたくさん体験するかにかかっていると言っても過言ではないと思います。周りの大人が決めて、それに従わせるのではなく、自ら決断する機会をどれだけ多く設定してやれるか（子どもの頃たくさん決断している子どもは大人になって大成しやすいと言われていました）両親をはじめとした周りの大人の役割はとても大きいものです。

人生は決断の歴史。いかに正しく決断して生きていくか…「決断力」は生きていく上では欠くことのできないとても重要なものだと思います。

格言に「聞いたことは忘れ、見たことは覚え、体験（教えた）したことは分かる」というものがありますが、教えるという行為を通して、理解がより深まるという結論です。親は子どもにいろいろなことを教える（言葉であったり行為であったり、後ろ姿であったり…）ことで、自分の知識をより確かなものとしていることになります。子どもを育てながら自分も育てられているということになります。子育ては大変だと思ってしまうことが多いと思いますが、少し目線を変えてみると、お互いが育ち合う、ウインウインの関係だと言うことが見えてきて、ちょっと嬉しくなりませんか…。





おすすめの1冊

能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。

『思春期の子が待っている親のひと言』大塚隆司／著（綜合法令出版）

話しかけても無視される、逆ギレされる…その言葉は子どもに通じていないのかもしれませんが。思春期の子どもとの接し方に悩んだ時、試してほしい声かけを掲載しています。ポイントは、「まずやってみる」こと。子どもとのコミュニケーションを見直すきっかけになる一冊です。



データでみる家庭教育

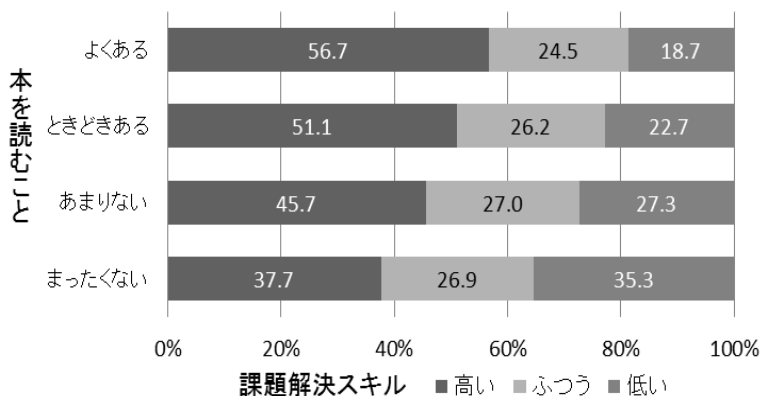
子育てや家庭教育に関するデータをとりあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？

右は、読書と課題解決スキルの関係をグラフにしたものです。ここで本とは、漫画や雑誌以外の本を指します。



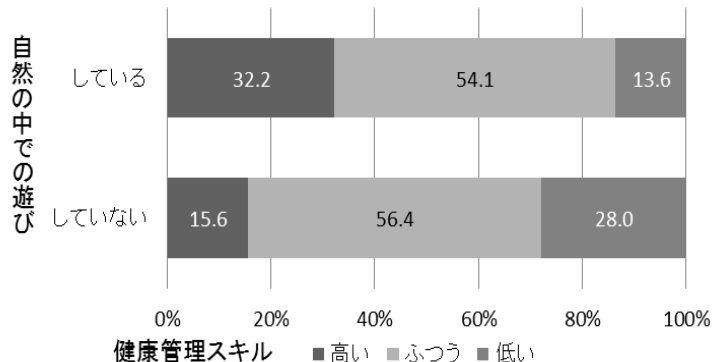
読書をよくする子どもほど、「目標達成に向けて努力する」「トラブルがあったとき、原因を探る」などの課題解決スキルが、読書をまったくしない子どもより高いということがわかります。読書をして様々な情報を手に入れることで、課題に向かう精神が育まれるのではないかと考えられます。

読書と課題解決スキルの関係



国立青少年教育振興機構「青少年教育研究センター紀要第4号」より

日常的な自然の中での遊びと健康管理スキルの関係



国立青少年教育振興機構「青少年教育研究センター紀要第4号」より

左は、日常的な自然の中での遊びと健康管理スキルの関係をグラフにしたものです。日常的に自然体験をよく行っている子どもほど、「毎朝、朝食を食べる」「普段から積極的に体を動かす」などの健康管理スキルが高い傾向が見られます。

また、学年があがるごとにできなくなっている「夜ふかしをしない」も健康管理スキルの一つです。自然の中で思いっきり遊ぶことで、早寝早起きのリズムが整い、夜ふかしもしなくなるのではないかと考えられます。

新しい季節に向かって

もうすぐ春がやってきます。進級・進学、それともなうクラス替えなど…。子どもたちにとっては楽しい気持ちもあるかもしれませんが、不安な気持ちもあると思います。

親子で十分に会話をしながら新しい生活に備えましょう。



乳児は 肌を はなすな
 幼児は 手を はなすな
 少年は 目を はなすな
 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。

能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市ニツ井町字上台 1-1

TEL:0185-73-5285 / FAX:0185-73-6459 / E-mail:shou-supu@city.noshiro.akita.jp